

議 事 録

作成日：令和3年7月12日

議 題	<p>○第3回 川南町学校規模適正化審議会</p> <p>1 会長あいさつ及び議事録署名人の指名</p> <p>2 前回議事録の承認について</p> <p>3 協議</p> <p> (1) 川南町立中学校の統合に係る基本方針（案）について</p> <p> ① 新中学校の整備方針</p> <p> (2) 費用比較について</p> <p>4 その他</p>		
日 時	<p>令和3年7月8日</p> <p>午後6時30分から</p> <p>午後7時40分</p>	作 成 者	<p>教育課 橋口 実</p>
場 所	<p>役場本館3階 第1会議室</p>		
出席者	委 員	<p>安藤洋之、平田順一、平塚金治、日高亘、小野智充、齋藤嘉貴、中瀬修、井上侑加、鏑野寛美、神谷則子、前田将大、中津和彦、永友辰樹</p>	
	事 務 局	<p>山本博課長、平部至識対策監、橋口実課長補佐、河野幾久子学校教育係長、草刈淳指導主事</p>	
欠 席 者	委 員	<p>富高保弘、木内新一</p>	
議 事			
事務局（山本）	<p>本日は、大変お忙しい中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>なお、本日は、富高委員、木内委員より欠席の御連絡を受けています。また、中瀬委員は少し遅れるとの連絡を受けています。</p> <p>よって、本日御出席いただいております委員は、15名中12人であり、過半数に達していますので、川南町学校規模適正化審議会条例第6条第2項の規定により本日の審議会が成立しておりますことを御報告します。</p> <p>それではただいまから、第3回審議会を開催いたします。</p> <p>これからの進行につきましては、安藤会長に議事の進行をお願いしたいと思います。安藤会長、よろしく申し上げます。</p>		
会長	<p>皆様こんばんは。本日は第3回の学校規模適正化審議会に参加いただき、誠にありがとうございます。第1回目の会議の際に教育長より2つの諮問を受けております。一つ目は、川南町立中学校の統合に係る基本方針について、二つ目は、新設中学校の候補地についてであります。審議会におきましては、この諮問内容について協議をしていきたいと考えておりますのでよろしく申し上げます。本日の協議内容は、御案内のとおり、新中学校の整備方針案、それに伴う費用比較についての説明を受け、委員の</p>		

	<p>皆様から意見を聞きたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、議事録作成のため録音をしておりますので、発言される際は、私の許可を取ってから行うようにお願いします。</p> <p>それでは、議題に入ります前に、議事録署名人2人を指名したいと思います。前回の審議会において、名簿記載順にお願いすることとなりましたので、今回は、齋藤委員と中瀬委員にお願いします。よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、議題に入ります。会次第の2前回の議事録の承認についてを議題とします。事前に配付しております議事録について、記載内容に御意見はありませんか。</p>
	<p><異議なしの声あり></p>
会長	<p>異議がないようですので議事録については、原案どおり承認ということでよろしいですか。</p>
	<p><承認></p>
会長	<p>議事録については、原案どおり承認されましたので、議事録署名人の日高委員と小野委員は、本会終了後、署名をお願いします。</p>
会長	<p>それでは、協議に入ります。まずは、基本方針（案）新中学校の整備方針について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局（山本）	<p>協議に入ります前に、前回、中津委員から質問のありました国立療養所の件で御報告させていただきます。中津委員の方から国立療養所の未利用地について今後の具体的な計画を教えてもらえれば、6.9%の方も納得するのではないのでしょうか、という御意見をいただきました。前回の会議が6月17日木曜日でした。その翌日に、日高町長、押川副町長、坂本教育長の3人で、独立行政法人宮崎病院（国立療養所）を訪問し、空き用地について確認を行ってきました。事務局の対応では、病院の蓄電のためにソーラー発電をつくりたいとの回答でありました。</p> <p>また、6月21日月曜日に再度、病院から事務局の方が役場に来られ、正式に空き用地についてはソーラー発電を第一に考えているとのことでありましたので御報告いたします。ちなみにですが、その他と回答された方が6.9%でありましたが、その内、「国立病院」と答えられた方は、2名でありました。回答者1,355人の内2名ということです。その他の方は、正確な場所の記入はありませんでした。以上であります。</p>
会長	<p>事務局より国立療養所について経過報告がありましたが、御質問、御意見はありませんか。</p>
	<p><質疑なし></p>
会長	<p>質問もないようですので、改めまして協議事項について事務局より説明をお願いします。</p>

事務局（橋口）	説明に入る前に、お詫びをさせていただきます。第1回審議会の際に、安藤会長より、アンケート結果の質問で候補地、その他はどこのことですか、との質問に、明確な根拠もなく憶測のまま、国立療養所ではないでしょうかとお答えし、委員の方々には、その他があたかも国立療養所のような印象を持たせてしまい、大変申し訳ありませんでした。実際には課長からもありましたとおり、明確に記入されていたのは2名となります。申し訳ありませんでした。改めまして、説明をさせていただきます。整備方針と費用比較につきましては、関連がありますのでまとめて説明します。
	<整備方針、費用比較について説明>
会長	ただいま事務局より説明がありましたが、御質問、御意見はありませんか。
釜野委員	総面積は、唐瀬原中学校が58,152㎡、新設地が14,000㎡ということですか。
事務局（橋口）	はい。しかし、6ページ目にあります、新設体育館、武道場の敷地面積は含んでおりません。
釜野委員	校舎面積は、唐瀬原中学校が5491㎡、新設中学校が6370㎡ということですね。
事務局（橋口）	はい。
釜野委員	この資料では、唐瀬原中学校と新設中学校の施設、野球場、陸上、テニスコートなどの面積の比較が無いので分かりづらいです。
事務局（橋口）	それぞれの様式に統一感がなく、比較しづらいものとなっています。大変申し訳ございません。
齋藤委員	新設地の場合は、この運動場の中ですべての部活動を行うということですか。それとも運動公園を使うという想定なのですか。
事務局（橋口）	体育の授業に関しましては、十分な広さが確保できていると思いますが、部活動に関しましては、齋藤委員の御指摘のとおり、すべての部活動をこの運動場で行うのは難しいと考えております。運動公園については、町民の方が利用される施設となっていますので、中学生が独占して使用するというのは難しいと思います。しかしながら、予約状況を見ながら空いているときは、各施設を利用させていただきたいと考えております。もう一点は、これも相手がいらっしゃることではありますが、隣接地を買収させていただき、サブグラウンドを作れないかと考えております。もう1点は、スクールバスを活用して、各施設の利用が重なってしまうときは、唐瀬原中学校へバスで送迎することも考えております。
中津委員	今説明のありました、サブグラウンドの件は、この費用比較に入っていないですね、コストが増えるということになりませんか。
事務局（橋口）	御指摘のとおり、この比較表の中には入っておりません。この比較表は

	<p>あくまでも最低額であり、決定額ではありません。これから増えてくることは想定されます。例えば、地盤改良とかが必要になれば増えてきます。現時点で具体的な調査は行っておりません。</p>
中津委員	<p>部活動の件ですが、200mトラックである程度まかなえる、運動公園が使っていなければ使わせてもらうとの説明ですが、今後町内の宿泊施設が復活すれば、時期によっては野球のキャンプで球場を利用するでしょうし、サッカー、ラグビーの試合等で陸上競技場が使えないことも想定されます。その時に、バスで唐中に運びますと言われますが無駄なことではないですか。</p>
釜野委員	<p>運動公園を使うこと、唐中にバスで運ぶこと、あっちこっちバラバラになるのは基本方針で説明されたことと話がぶれてきてはいませんか。</p>
中津委員	<p>どうしても、新しい施設を作らないといけないのですか。せっかく唐中にサッカー場、グラウンド、広い敷地があるのに、わざわざ200mトラックに押し込まれてというのは理解ができません。二つの学校を統合して、唐中を利用すればいいと思います。新しく施設を作っている間は、国中を利用しておけば仮設校舎を建てる必要も無いと思います。そうすれば、コストダウンができるのではないのでしょうか。</p>
事務局（山本）	<p>中津委員の言われることも一理あると思います。唐中にするか新しいところにするか苦渋の選択をしなければなりません。事務局としますとコストのことも非常に大事ですが、図書館、文化ホールや運動公園が隣接している中央部の方が学ぶ環境として優れていると考え、学ぶ環境を優先し、中央部に新しい学校を建てた方がいいのではないかと考えたところです。また、アンケートの結果にもありますとおり70パーセントの方々が見望んでおられるということも尊重しなければならぬと思っています。</p>
神谷委員	<p>アンケートのことでお聞きしたいと思っていたのですが、ここまでの議論を聞いているとアンケートの結果を反映した話し合いになっていないと感じたのですが、アンケートの結果は公表されていないのですか。</p>
事務局（山本）	<p>町のホームページで公開しております。</p>
神谷委員	<p>アンケートの結果を見れば、中央部に学校を持って来る話を進めるのが筋かなと私は思います。</p>
平田委員	<p>今日は、ゆとりのある土地で小学校も持ってこられるような場所を提案してくれるものかと思っていましたが、まったく狭い土地で小学校のことはどうなるのかなと思ったところです。もう一つは、運動公園が町民のものとして説明がありましたが、陸上競技場、野球場などの施設は中学生の専用グラウンドにして積極的に使えるようにしないとイケないと思います。唐中のグラウンドを町民用に開放すればいいのではないですか。なぜ、この場所に中学校を持ってきたのかと言われぬように、運動公園の利用については考えていただきたいと思っています。</p>

事務局（山本）	<p>小学校の件ですが、平成28年度から学校統廃合のことについては、話をしております。アンケートも行っております。小学校については、各地域を回った時に、小学校を中心に地域が活性化しているという話や、保護者からは人数が少なくなっても近場に通わせたいとの意見を聞いております。また、議会にも小中一貫校や小学校統廃合についての話は一切行っておりませんので、この審議会において小学校のことについて議論をすることは出来ないと考えています。議会には中学校の統合の話をしておりますので、小学校の話については、もう少し先のことになるのかなと思います。本日は諮問しております中学校の候補地について議論していただければと思います。</p>
齋藤委員	<p>学校統合について、部活動のことも重要なことだと考えています。新設地の場合、私は運動公園を中学生が優先的に使えるものと考えていましたので、町民が優先と説明がありましたが、町民の方と仲良く共用できる環境を作ってもらえれば、新設地で問題はないのではないのでしょうか。</p>
事務局（山本）	<p>200mトラックは確保できるとしまして、今後どのような部活動ができるのかということもありますが、生徒数は徐々に減っていきます。野球場については、一般の方がナイターで使われる前まで利用させてもらうなど調整をしたいと思います。逆に、唐中におきましては、既に弓道部は運動公園で、ソフトテニス部は、運動公園に来て練習をすることも聞いています。今後、施設の利用を調整するとともに、周辺の土地も取得しまして、素晴らしい施設を作っていきたいと考えております。</p>
平塚委員	<p>先ほどからスポーツの話が出ておりますが、私の方からは、中学生の学ぶ環境について意見したいと思います。中学生は自主的な活動、自立的な行動を学んでいかなければなりません。そのようなことができる環境となりますと敷地やグラウンドのことだけではなく、多くの人と交流のできる場所、商店街や図書館などがあり、人の集まる中央部で考えていくことが大事ではないかと思います。</p>
神谷委員	<p>先ほどサブグラウンドを確保するようなお話が出ておりましたが、もう目途は立っているのですか。</p>
事務局（山本）	<p>資料の6ページ目になりますが、中央保育所の南側周辺について、所有者と話は始めております。</p>
中瀬委員	<p>令和8年度に開校するとして、その時の生徒数がどの程度になり、そこから何パーセントの生徒が部活動に加入するのか。現状として、唐瀬原中学校があればほどの広大な敷地がある中で、運動公園まで来て練習をしているのは、夜間の照明であったり、人工芝に変わったりなどのメリットを生かして競技力の向上を望んでいるのではないかと考えられます。こういうことを考えると中央部にメリットがあると思います。部活動という言い方に関しても今後、変わってくるのではないかと考えています。両校の校長</p>

	<p>先生にお聞きしたいのですが、今後は部活動からクラブ化といいますか、外部コーチ制になり、学校のグラウンドではなく、空きスペースを見つけての活動となるのでしょうか。今後の部活動のあり方について教えてください。</p> <p>また、話は変わりますが、昨日中学校2年生が職場体験に行っておりました。学校を中央部に持ってくれば、すぐ近くの商店街で学習できるなどメリットがあると思います。いろいろな面を考え、事務局の提案である中央部に新設というものを尊重したいと思います。</p>
会長	校長先生、回答をお願いします。
小野委員	部活動については、将来クラブ化というよりは、指導者が外部になる可能性が高いと思います。施設については、これまで同様学校の施設を使うことになると思いますが、もし、中央部に学校ができる場合、運動公園の施設が優先的に使えるようになると問題がなくなると思います。
日高委員	今後の部活動は、学校の中だけではなく、地域での活動、地域の指導者との関わりが増えてくるのではないかと考えられます。
事務局（山本）	これからの子供たちのことを一番に考えてどの施設が一番いいのか、学びの環境を第一に、その次にコストのことを考えていただけたらと思います。令和8年度に中学校を開校させるために、ふるさと納税を頑張ったり、各種事業を縮小したりしながら以前から基金を積み立てております。それと、陸上競技場、野球場について、改修に向けた話し合いを始めたところです。
小野委員	アンケート結果の3ページ質問3-2の中に、「安全性・耐久性に優れていること」、「各施設（教室、体育館、プール等）の整備の充実」とありますが、こういうのは、どこであっても当たり前のことであって、「通学距離の不公平感をなくすこと」とか、「快適に学習できる環境であること」の場合になりますと、私は唐瀬原中学校に赴任したことが無いので状況が分かりませんが、国光原中学校と同じぐらいだろうとしたときに補修・改修を繰り返すよりは、現在のニーズに合った新しい校舎を建てた方がこのアンケートの意見を反映していることになると思います。新しい校舎を建てる方が、子どもにとっても保護者にとっても魅力があると。生徒の町外流出の話も出ていましたが、そういうこともなくなってくるのではないかと思います。また、唐瀬原中学校に統合するというのは、アンケート結果からみても町民の理解が得られないのではないかと思います。
井上委員	私は、川南町教育委員会が考えたこの基本方針がとてもよくできていると思います。この方針案のとおり理想的な学校を作るためには、やはり中央部がいいと思います。
中津委員	先ほど中央保育所の南側の用地については買収を進めていますと話がありましたが、中央部に学校を建てるという前提で話が進んでいるというこ

	とですか。費用比較では、唐中と中央部2つの説明がされましたが、既に中央部で話が出来ていて学校を作ります。ということでよろしいですね。
事務局（山本）	決まっているわけではありません。いろいろな事業を進める上で、事前にある程度の動きはやらなければならないと考えています。決まってから動いて遅くなると困りますので。可能性について話を聞いている段階で購入が決まっているわけではありません。町としましては、議会に対しましても、中央部の方がいいと話しております。もし仮に議会での承認が得られた場合のために、可能性を探っている段階です。
釜野委員	今の答弁は、この審議会を非常に侮辱しているのではありませんか。というのも、せっかく審議会を開いて候補地の議論をしているのに、片方では買収を進めているという話では、中央部で話を進めているのでしょ。そう取られても仕方ないですよ。買収が進んでいるということは。
齋藤委員	私はそうは思いません。事業を進める上で事前に話を聞くことは間違いではないと思います。契約をしたわけではありませんから。
釜野委員	個人で受け取り方がそれぞれ違うので、あなたのような考え方もあっていいです。私は納得できません。
齋藤委員	私は、事前の動きはいいと思います。
釜野委員	そういうことであれば、唐瀬原中と中央部で比較検討する必要はないじゃないですか。最初から中央部に絞って中身について審議会をすればいいのではありませんか。この会は意味がない。
事務局（山本）	釜野委員が思われているような買収が進んでいるわけではなく、議会からの承認をいただいているわけでもありません。ただ、可能性について確認をしている段階です。
井上委員	私は、いろいろなパターンがあっいいと思います。娘が唐中に通っていますが、サッカー場がこんなに立派なものがあるとは知りませんでした。このようにいろいろなパターンを示していただき候補地の決定をすればいいと思います。
会長	その他御意見はありませんか。 貴重な御意見をありがとうございました。ここで提案ですが、今回の審議会で候補地を決めるか、又は皆さん各種団体の代表としてきていただいておりますので、団体の皆さんにも意見を聞いて次回の審議会で決定するのか、お諮りします。いかがでしょうか。
平田委員	開催予定では、あと2回審議会が行われて、第4回の時に候補地を決めるようになっているので、今決める必要はないのではないですか。
会長	それでは、次回第4回審議会において候補地を決定したいと思っておりますので、各団体の意見も聞いて参加していただけるといいかと思っております。 その他について何かありますか。
前田委員	学校のことでないのですが、若連の会長をしております関係でお聞き

	<p>します。現在、提案されている場所はフェスティバルで花火を打ち上げている場所になります。学校ができた場合、これまでどおり花火は打ち上げられるのでしょうか。</p>
事務局（橋口）	<p>花火打ち上げについては、まちづくり課に確認しておきます。</p>
釜野委員	<p>次回の会議の時に教えて欲しいのですが、これから理想の学校を作ろうとしていますが、その際、ありたい姿としての校舎、体育館、野球場、サッカー場など各施設の必要面積と、唐中の面積、中央部で実際に確保できる面積の差を教えてください。</p>
事務局（橋口）	<p>わかりました。</p>
日高委員	<p>確認ですが、事務局より新中学校の整備方針案について説明がありましたが、この案については承認ということでしょうか。</p>
会長	<p>事務局から説明のありました川南町立中学校の統合に係る基本方針（案）新中学校の整備方針について、承認していただけますでしょうか。</p>
	<p><承認></p>
会長	<p>承認されました。次回の日程について、事務局より提案をお願いします。</p>
事務局（橋口）	<p>次回の会議日程について提案します。7月27日火曜日午後6時30分から生涯学習センターで行いたいと思います。第1回審議会を行った会場になります。</p>
会長	<p>皆様、御異議はありませんか。御異議がなければ事務局の提案どおりの日程で第4回審議会を行いますので、よろしくをお願いします。</p>
会長	<p>皆様、ありがとうございました。それでは、以上を持ちまして、本日の議事の全てが終了しました。皆様の御協力ありがとうございました。</p>
事務局（山本）	<p>安藤会長ありがとうございました。本日は、大変お忙しい中、御協議いただきまして誠にありがとうございました。以上をもちまして、第3回川南町学校規模適正化審議会を終了させていただきます。お疲れさまでした。</p>

以上、会議において出された意見であると認めます。

令和 3 年 7 月 27 日

第3回審議会

会 長

安藤 洋之

議事録署名人

齊藤 嘉道

議事録署名人

中瀬 修